

行政改革の工程表（ロードマップ2009）の成果

平成21年に策定した「ロードマップ2009」（H21～26）の144の改革項目について、平成21年度の実績をとりまとめました。**144項目の内完了は54項目（38%）**、完了も含め8割方は取り組みが進んでいますが、遅れている項目も約2割ほどあります。今後はロードマップの見直しを行い改革をさらに前進させます。

市役所改革（意識改革）（主なもの）

- 管理職（課長）候補者試験を毎年行っています。（3年目）受験者42人 合格者26人
- 係長級昇格試験をはじめました。
受験資格者30人 受験者26人 合格者21人
- 能力・業績評価による昇給管理を毎年行っています。

職員・組織改革（主なもの）

- 職員の削減（医療機関を除く）
・43人削減しました。
削減効果2億7,600万円
※合併時（17年）の職員は1,065人から197人減りました。（医療機関の職員を除く）
- 職員養成の基本方針をつくり取り組んでいます。

財政改革（主なもの）

- 借金の削減
・全会計で借金額を約46億円減らしました。
・繰上償還により将来の金利分を7億3,200万円減らしました。
※合併時（16年度末）の借金1,107億円はこれまでに合計で153億円減らしました。
- 補助金等の見直し
補助金・交付金等を1,100万円削減しました。
- 財源の確保
市有地を売却しました。売却額5,200万円

行政改革の財政効果

□21年度中の財政効果

歳入増加額	約8,300万円
歳出削減額	約3億500万円

□22年度予算に反映した財政効果

歳出削減額	約3億4,700万円
-------	------------

□将来の予算への効果（見込み）

歳出削減額	約7億3,200万円 （繰上げ償還による金利分の減額）
-------	--------------------------------



行政改革（主なもの）

- 事業の見直しをしました。（事務事業評価）削減効果7,100万円。
※19年度に市民評価された事業の見直し削減累計額は3億7,500万円
- 民間活用の推進
上下水道料金収納業務などの窓口業務を委託しました。
削減効果1,800万円（人件費換算）
土日、祝日の窓口業務が営業され、平日の営業時間が延長されました。
- 施設の管理を民間に任せました。（指定管理者制度の導入）経費を600万円減らしました。
- 業務のIT化
特定健康管理・出勤管理などの21の業務をシステム化しました。
業務量削減効果2,800万円（人件費換算）
- 料金の統一
水道料金、文化スポーツ施設使用料の統一のため条例改正しました。